

管機連Daily News

2026年2月5日(木)

« 今日の主なニュース »

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆3メガバンク純利益最高の4兆円 4~12月、利上げ効果通期で7000億円

・3メガバンクグループの2025年4~12月期決算が出そろった。合計の連結純利益は前年同期比13%増の4兆2281億円、3年連続で最高益を更新。国内の金利上昇による金利収入、貸出残高の増加が業績を押し上げた。26年3月期通期は計4兆7300億円を見込む。東証プライム上場の3月期企業約1060社の合計純利益の9%を占める見込み。

◆中小企業の退職金共済、上乗せ上限を撤廃 株高で運用上振れ

・厚生労働省は中小企業が加入する中小企業退職金共済制度(中退共)の付加退職金について、支給ルールの上限を撤廃する。国内外の株式や外国債券の運用収入が堅調なため加入者への還付を増やす。物価上昇を踏まえ、現在1%としている予定運用利回りも2027年度末までに見直す。

◆生成AI活用調査、業務時間は17%削減 生産性向上には課題も

・パーソル総合研究所は生成AI(人工知能)と働き方に関する実態調査を発表。正社員が生成AIを仕事で使った場合、業務時間は作業単位で平均17%減らせることがわかった。ただ、実際に業務時間を削減できている人は利用者の4人に1人にとどまり、生成AI活用を組織や業務全体の生産性向上につなげる難しさが浮き彫りに。

« 業界ニュース »

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆ダイキン純利益1%増に下方修正 26年3月期、化学事業で苦戦

・ダイキン工業は2026年3月期の連結純利益が前期比1%増の2680億円になる見通しだと発表。6%増の2800億円としていた従来予想から下方修正したが、過去最高益予想は維持。化学事業で半導体製造装置向けのフッ素樹脂の受注が急減。売上高は3%増の4兆9200億円と従来予想から800億円引き上げ。大型空調が堅調に推移。

◆三菱電機、希望退職費用が膨らみ下方修正 26年3月期純利益11%増

・三菱電機は2026年3月期の連結純利益(国際会計基準)が前期比11%増の3600億円になる見通しだと発表した。従来予想(14%増の3700億円)から下方修正した。希望退職募集に関わる費用が従来想定から約600億円膨らみ、通期で1000億円を計上する。事前の市場予想平均(QUICKコンセンサス、3654億円)を下回る。

◆マンション価格高すぎて「東京敬遠」、転入超過減速 近隣県が受け皿に

・東京一極集中のスピードが落ちてきた。総務省が3日に発表した住民基本台帳に基づく2025年の人口移動報告によると、東京都への転入超過数が4年ぶりに縮小した。人口流入が続いてきた東京23区ではマンションの販売価格や賃料が大きく上がる。東京の中心に住民が集まる流れは鈍り始めた。

« 注目商品 »

■LIXIL、システムキッチン「ノクト」と「シエラ」のデザインと機能を大幅に刷新

・システムキッチン「Noct(ノクト)」と「Shiera(シエラ)」のデザインと機能を大幅に刷新し4月より発売。単なる調理の場を超えて、お気に入りの家具のように心を満たす「Reラックス(リラックス)キッチン」。美しさも使い勝手も諦めない、新しいキッチンのあり方を提案。



■ドン・キホーテ、「情熱価格」からダイヤル操作を採用したドラム式洗濯乾燥機

・オリジナル商品ブランド「情熱価格」からダイヤル操作を採用したドラム式洗濯乾燥機(87,890円税込)を発売。「ドラム式デビューしたい方に選ばれるドラム式洗濯機」を目指し、低価格を維持しながら操作に迷わないドラム式洗濯機の新モデルが誕生。



■サンコウ電子研究所、簡単操作の国産鉄筋探知器

・位置とかぶり厚を迅速に探査できる国産鉄筋探知器。日本建築学会建築工事標準仕様書JASS5T-608「電磁誘導法によるコンクリート中の鉄筋位置の測定法」に適合。小型センサで狭小部位の探査が可能で、下限値設定機能により過小かぶり部位も迅速に探査。

